



# こども未来 アクション2024

小学生版

# 東京都は、こどもの笑顔があふれる社会をつくりま



こどもが自分らしく  
健やかに成長できる

こどものために何がベストかを  
こどもと一緒に考えます

社会全体がこどもを  
大切にしている

社会全体で「こどもを大切にする」  
気持ちを広げていきます

安心して  
子育てができる

子育て世代を  
ずっとサポートします

## 主役であるこどもの意見を大切にしていきます

みんなの身近な場所で  
声をきいています



アンケートで  
みんなの意見をきいています

都庁の職員が  
小学校に出かけて  
いろいろなテーマで  
授業します



授業の様子  
(調布市立布田小学校)

### 東京都こども基本条例を知ろう

こどもは社会の一員です。こどもはたくさんの権利を持っています。  
こどもだけが持つ権利もあります。こどもの権利が大切にされ、  
みんなが幸せに過ごせるように、東京都こども基本条例ができました。

※「条例」とはまちの約束事です。

こどもの幸せが  
一番

大人はこどもに  
最も良いことは何か  
ということを、  
第一に考えます。

こどもはかけがえのない存在  
権利の主人公

こどもにはこどもの権利があります。  
誰もが持っている、当たり前の権利があります。  
こどもの権利は  
大切にされなければならないものです。

こどもの意見は  
大切にされます

こどもの意見は、価値あるもの、  
尊いものです。  
大人はこどもの意見に  
しっかり向き合います。

# こどもの声や思いを今後のアクションへつなげていきます

## 遊び場についての声

ボール遊びが  
できる場所が  
もっと増えてほしい

他の学年の人と  
いっしょに遊べる  
場所がほしい

車いすの人とも遊べる  
公園がほしい

プレーパーク  
のような公園が  
もっと家の近くに  
できるといい

今後の  
アクション

だれ 誰もがのびのびと自由に遊べる場所を増やします



## 学習環境<sup>かんきょう</sup>についての声

えいご 英語で、外国人の方と  
話せるようになりたい

日本語が  
上手じゃないので  
話すのが  
は 恥ずかしい

フリースクールでは、  
自分のペースで  
勉強できる

今後の  
アクション

みんなの学びたい気持ちを  
おうえん 応援します



## 悩み<sup>なや</sup>の相談についての声

だれ 誰にも言えないことを  
相談できる  
場所がほしい

ちゃんと  
きいてくれると  
スッキリする

気楽に  
インターネットで  
相談できたらいいな

今後の  
アクション

こまった時に、気軽に相談できるようにします

こどもを  
大切にする  
社会へ!



こどもアンバサダーの  
むらやま せいらり  
村山輝星さん▶



こどもの不安や悩みをサポートします

いろいろな方法で  
気軽に相談できる



こまったときに、  
頼れる人や場所がある

# こどもの笑顔がいっぱいの まちを実現

社会全体で  
こどもの笑顔を  
応援します

こどもの  
「遊びたい」を  
全力で応援

事故から守られ  
思い切り  
チャレンジできる

子育て世代を  
応援します

学童クラブが  
利用しやすくなる

海外留学のチャンスや  
海外の学校との交流が増える

こどもの学びを応援します

お金の心配をせずに  
安心して学べる

デジタルの  
最先端が学べる



こどもの「遊びたい」を  
全力で応援

# こどもの笑顔につながる「遊び」の環境づくり

こどもが自由にのびのびと遊べる遊び場を増やしていきます

自由工作



お祭り遊び



ボール遊び



プレーパークでの遊び



こどもたちの  
「やってみたい」を実現できる  
遊び場をつくります



こどもたちのアイデアで  
すべり台を制作



すべり台が完成!

こどもが遊ぶことの大切さをみんなに伝えていきます



タレントのつるの剛士さんが遊びの大切さや魅力を発信

事故から守られ  
思い切りチャレンジできる

# こどもを事故から守る環境づくり

学校や家で、いろいろな事故が起きています  
 都では、こどもの事故が起きにくい環境づくりに取り組んでいます



▲カエル先生

どうすれば、事故を予防できる？

例えば、川で遊ぶときに、ライフジャケットを「着けない」から「着ける」に「変える」だけでおぼれることを防げるようになります

変えたいもの  
川でおぼれること

変えられないもの  
川の流れや深さ

変えられるもの

- ライフジャケットを着ること
- マリンシューズをはくこと
- こどもだけで川に近づかないこと



何かを「変える」ことで

事故を予防することができます  
 「変えられるもの」が何かを考えて  
 取り組むことが大切

ケース1 ころぶ



何を換えれば、エスカレーターでころばないだろう?

ココから変えてみよう!

- 必ず黄色い線の内側に立つ
- すき間に靴ひもがはさまれないように気をつける
- ほかにもあるか考えてみよう

ケース2 ぶつかる



何を換えれば、車にぶつからないだろう?

ココから変えてみよう!

- 飛び出しは絶対にしない
- 暗い場所でも光る反射材を身に着ける
- 青信号でも左右を確認してから横断歩道を渡る
- ほかにもあるか考えてみよう

みんなで事故予防について  
考えよう!



〈こどもの事故予防  
ハンドブックのイメージ〉